

## “失敗をすり替えると…残念な結果に…”

以前、自分の知り合いで小学生の低学年の子どもに関わる仕事をされていた方がいました。その子供の一人が、その教室のルールを守らず、ほかの子たちに迷惑をかけたので、その知り合いの方が厳しく叱りました。次の日、その叱られた保護者からその知り合いの方の叱り方についてクレームがきました。この話を聞いたとき、親がクレームを言っている姿をみたこの叱られた子は、残念なことに自分の何が悪かったのかを学ぶ機会を失っただけでなく、自分の失敗をほかのことにすり替えることで、この件から逃げられることを覚えてしまったので、この子のこれからが心配になりました。実際この子は、その後何年たっても、学校でも同じようなことで叱られることが多く、他の教室へ行っても結局変わることはなかったようです。

よく学校では「失敗をしてもいいんだよ」と言われます。失敗をすることで、なぜ失敗をしてしまったのか？どうすれば失敗しなかったのか？次はどうしていこうか、など、多くのことを考え、その学びを次に生かすことができるからなのです。しかし、失敗からの学びを次に生かすには、その失敗を自身で受け入れることが前提になります。確かに、失敗をして叱られるのは誰でも嫌なことで、できれば避けたいです。しかし、それを人のせいにしたり、違うこととすり替えてしまえば、全く意味がありません。それどころかその失敗を生かすことができなくなるので、また同じ失敗を繰り返し、いずれ周りからの信頼を大きく失うことになります。失敗を人のせいにすることで、その一瞬は楽な気持ちになるかもしれませんが、失敗したことを認めず、他のものにすり替えれば、自分が失敗したことや叱られたりすることから逃げるができるかもしれません。ただ、その一瞬の“楽”や“逃げ”を選ぶことで、自分の周りからの信頼をなくし、気が付いたときには周りに人がいなくなってしまうということさえあります。その時になって悔やんでも遅いのです。一瞬の“楽”や“逃げ”が、自分の成長を妨げるだけでなく、将来に大きくマイナスの影響を及ぼしてしまいます。

ところで、皆さんは、どうですか？自分が“やってしまったな”と思ったことを受け入れられていますか？受け入れられている人は、間違いなく次のステップへ進み、周りの信頼も失うことはないでしょう。この自分の失敗を受け入れ、次のステップへ進もうとする姿勢は、卒業後も必ず役に立ちます。これから修学旅行、校外学習、体育祭などの行事や日々の活動、部活動、いろいろと自分を試す場面があります。すべてがうまくいけばもちろんいいのですが、時には失敗をしてしまったり、うまくいかなかったりすることもあると思います。その時に、自分で自身の取り組みを受け止め、考えるのか、それとも人のせいにしたり、何か理由を見つけて逃げるのかで大きく変わってきます。是非皆さんには、成長する方を選んでほしいと思っています。先生方もみんなで応援しています。頑張ってください。最後に失敗をすり替えて、逃げても、いつかは逃げきれなくなることをいつか自身で体験するはずです。